

平成19年第3回羽村市議会（定例会） 一般質問通告項目一覧表

発言順	議席番号	議員氏名	質問項目	質問日
1人目	9番	濱中俊男 (60分)	<p>1 狭あいな道路の整備について</p> <p>(1) 羽村市西地区道路整備基本計画について</p> <p>①現在までに整備した路線はどのくらいあるか。</p> <p>②平成20年度以降は、どのような施策を図る予定か。</p> <p>③本計画を見直す検討はしているか。</p> <p>④今まで以上に、毎年一定の予算と目標を立て、より計画的に整備する必要があると考えるが、市の考えは。</p> <p>2 「放課後子どもプラン」の推進について</p> <p>(1) 市の取り組みについて</p> <p>①小学校の空き教室の状況は。</p> <p>②現在の学童クラブの待機児童数は。</p> <p>③運営委員会は、いつ設置する予定か。</p> <p>④コーディネーターの設置計画はどうか。</p> <p>(2) 今後の計画について</p> <p>①今後の小学校児童数をどう予測しているか。</p> <p>②先行的に一小学校において本事業を実施することを検討すべきと考えるが、市の考えは。</p> <p>3 市制定の木（イチョウ）、花（桜）、鳥（アオバズク）</p> <p>(1) 市の木、花、鳥について</p> <p>①これらを決定したいきさつは。</p> <p>②制定以降、見直しをしたことがあるか。</p> <p>③イチョウ、桜、アオバズクの市内の現状はどうか。</p> <p>④三多摩の市町村で制定している木、花、鳥等の状況はどうか。</p> <p>(2) 今後について</p> <p>①市内根がらみ前水田のチューリップも、市内外の方々に親しまれ、毎年4月には、多くの人で賑わうようになった。そこで、桜に加えチューリップも市の花にすべきと考えるがいかがか。</p> <p>②木、花、鳥以外のものを制定している自治体もあるが、それらを含めて、検討委員会等を新設してみることを提案するが市の考えは。</p>	6月11日
2人目	2番	大塚あかね (60分)	<p>1 生涯学習施設の利用体系・利用料金の見直しを</p> <p>(1) ゆとろぎとスポーツセンター及び児童館の利用体系について</p> <p>①ゆとろぎとスポーツセンターについて</p> <p>②児童館の空き時間を生涯学習の団体への貸し出し運用を考えたことはあるか。</p> <p>(2) ゆとろぎとスポーツセンターの利用料金について</p> <p>①午前、午後、夜間の料金格差の理由は何か</p>	6月11日

			<p>②料金設定に対して、市民から苦情は寄せられていないのか。</p> <p>③市内、市外の料金適正化を早急にはかるべきではないか。</p> <p>④羽村市使用料等審議会を開催する予定はないのか。</p> <p>2 安心して子供を産み育てられる街に</p> <p>(1) 女性外来について</p> <p>(2) 産婦人科の医療体制について</p> <p>(3) 小児科に「病後児保育室」の設置を</p>	
3 人目	4 番	橋本 弘山 (60 分)	<p>1 防災訓練に小中学生の参加を</p> <p>(1) 授業の中で防災に対する教育はどう行われているか。</p> <p>(2) 公開授業、授業参観の実施と併用して羽村市の総合防災訓練に参加させていく予定、あるいは指導はできないか。</p> <p>2 羽村市内の遊歩道の状況について</p> <p>(1) 危険箇所の通行について</p> <p>①大正土手から羽村堰に向かう場合、必ず歩道のない奥多摩街道に一旦出て玉川兄弟下まで行くしかないが、この付近の道路の拡幅等の予定は。</p> <p>②通称「丸山下」の箇所は現在立ち入り禁止になっているが、将来安全に青梅リバーサイド側に通行できるようにならないか。</p>	6 月 11 日
4 人目	17 番	川崎 明夫 (40 分)	<p>1 都市農業の振興について</p> <p>(1) 羽村市農業の現状と問題点は何か。</p> <p>(2) 17 年 9 月から生産緑地の追加指定が行われ、今年締め切ることになっているが、現状と今後について。</p> <p>(3) 農業後継者が育って来ていると聞いているが、今後、育成のための補助金・視察等の援助を望む声があるが市の考えは。</p> <p>(4) 規模は小さいが「羽村らしさ」としての独自性や高い価値を生み出す、「羽村ブランド」の取り組みは。</p> <p>(5) 地場産農産物の消費について、飲食店などの現状と「地産地消協力店」の認定や、PRについての考えは。</p>	6 月 11 日
5 人目	12 番	中根 康雄 (60 分)	<p>1 市の行財政改革はどこまで進んでいるか。</p> <p>(1) 職員数（臨時・再雇用を含む）の変化について。</p> <p>(2) 実質公債費比率と実質収支比率について。</p> <p>(3) 経常収支比率について。</p> <p>(4) 財政力指数について。</p> <p>(5) 人件費比率について。</p> <p>2 市税等の滞納処理について</p>	6 月 11 日

6 人目

1 番

鈴木拓也
(60 分)

- (1) 市税・負担金・使用料及び給食費等の滞納状況とその原因、処理経過、徴収努力方法と今後の方針について、どう対処しているか。
- (2) 滞納が自治体の財政を圧迫し、行政サービスの低下をまねきかねないことを自覚させる手立てを考えているか。

6 月 11 日

1 私立幼稚園等園児保育料助成金について

- (1) 「幼稚園に子どもを通わせるための経済的負担が重い」との声が多く多くの市民からあげられているが、この声をどのように受け止めているか。
- (2) 私立幼稚園等園児保育料助成金（以下、助成金）など、私立幼稚園や保護者への支援について、保護者会などから、どのような要望が市へと届けられているか。
- (3) 助成金の増額で保護者の負担軽減を。
 - ① 子育て世帯の経済状況が苦しくなるもとで、助成金の増額をはかる必要があると考えるが、どうか。
 - ② 2 人目以降の助成金の増額も必要だと考えるが、どうか。
 - ③ 助成金の増額にはどれだけの予算が必要か。

2 学童保育の待機児解消について

- (1) 学童保育の待機児の現状と推移はどうか。どのように解決する見通しを持っているか。
- (2) 学童クラブの増設について、具体化はどのようにすすんでいるか。
- (3) 保護者から、緊急に待機児を解消するための提案があげられている。市長の見解をうかがいたい。
 - ① 「小学校の教室を活用し、待機児を対象とした保育をおこなう」という提案について
 - ② 「地域会館を活用し、待機児を対象とした保育をおこなう」という提案について
 - ③ 「保育の必要性が増す夏休み中に限り、小学校や地域会館などを活用しての保育をおこなう」という提案について
 - ④ 「児童館と連携して、待機児が放課後を過ごせるシステムをつくる」という提案について

3 西多摩衛生組合への小金井市のごみ搬入問題と、大気・土壌調査について

- (1) 西多摩衛生組合への小金井市のごみ搬入について、市民の疑問や不安に市長はどうこたえようとしているのか。
 - ① 「小金井市の行政の失敗のつけを、なぜ羽村市民が負わねばならないのか」との疑問について
 - ② 「10 年間もの長い期間にわたり、なぜごみを受け入れなければならないのか」との疑問について
 - ③ 「市民への説明がきわめて不十分で、市民の

7 人目

3 番

西 川 美佐保
(60 分)

合意がなされないまま、どうして受入れを決めてしまったのか」との疑問について

④「燃やすごみの量が増えるもとで、環境や健康への悪影響が心配だ」との不安について

(2) 大気・土壌調査の充実を。

①現在おこなわれている大気・土壌調査の場所・頻度・方法はどうか。

②焼却ごみの増加、軟質プラスチック等の焼却開始にともない、調査をより強める必要があると考えるが、どうか。

4 コミュニティバス「はむらん」を双葉町3丁目でも利用しやすく

(1) 現在は、停留所「双葉町2丁目」のあとコースを引き返し、三矢会館に向かうが、善隣幼稚園前のバス通りを周回するようコースを伸ばし、停留所を新設してはどうか。

(2) 双葉町3丁目1番地～3番地（動物公園通り沿い）までコースを伸ばし、停留所を新設してはどうか。

1 女性医療の設備の充実について

(1) 公立福生病院の「女性専門外来」の現状について問う。

(2) 女性医師や看護師が働きやすい環境づくりとして、院内保育所の準備はされているか。

(3) 新しい公立福生病院に、ドクターヘリのヘリポートの場所は確保する計画となっているか。

2 少子化対策として、3人目以上の子育て支援を

(1) 国民健康保険の被保険者が3人目以上の子を出産したとき、出産育児一時金を35万円から50万円へ拡充することについて問う。

(2) 3人目以上の子の幼稚園、保育園の保育料の無料化、3人目以上の子どもを優先して幼稚園、保育園に預けられる制度等、新たに少子化対策として安心して産み育てる環境作りについて、市として取り組んでいく考えはあるか。

(3) 妊婦さんのマークであるマタニティマークは、市としては母子手帳とともに配られているか問う。

3 羽村市の産業の活性化として「日本一安全でおいしい水」の活用を

(1) 羽村の水をペットボトルにすることについて
①羽村の地下水をペットボトルにして全国へ売り出す考えはないか。

②なぜ、どのように羽村の水が優れているのか、ペットボトルのラベルに、目に見える形にしてアピールをしてはどうか。

③羽村の水のPRのため、商工会とも連携してプロジェクトを作り、売り込み先の拡大をしてはどうか。

④2万本が利益の出るめやすと伺っているが、市の防災用の水を、羽村の水のペットボトルに

6 月 12 日

8 人目

14 番

露 木 諒 一
(50 分)

替えるだけでも効果はあると思うし、近隣の地方自治体や姉妹都市にも声をかけていくことで、いくらでも広げられると思うがどうか。
(2) 工業用水もあらゆる企業向けにインターネットを通じて宣伝をすることについて、どう考えるか。

1 犬の飼育管理とドッグランについて

- (1) 10 年前、5 年前、現在の犬の登録件数と狂犬病予防接種数は。
- (2) 動物の苦情件数のうち、犬の苦情件数は何%か、その中の捨て犬、ふん公害、鳴き声、騒音等の犬の苦情件数は。
- (3) 公園や空き地など、住民が犬を散歩させる場所に、犬のふんが時折放置されている。ふんを始末しない飼い主に対し、市の対策は。
- (4) 犬がのびのびと遊べる「ドッグラン」を設置する考えはないか。
- (5) 正しい犬の飼い方、飼い主のモラル等、専門の指導員から犬の飼い方教室を実施する考えはないか。

2 事業仕分けで行財政改革の推進を

- (1) 事業仕分け制度の導入について
 - ① 庁内にプロジェクトチームを設置し、官と民の役割と責任を明確化するための仕分け作業を実施するとあるが、具体的な取り組みについて何う。
 - ② 官民連携による行政手法を評価していく仕組みづくりを検討するとあるが、どのような仕組みづくりを検討しているのか。
- (2) 国では昨年 6 月に公共サービス改革法(市場化テスト法)が成立し、羽村市においても、市場化テスト(官民競争入札制度)の導入検討を羽村市行財政改革推進プランに載せているが、検討結果は。
- (3) 佐賀県では新たな公共サービスのあり方や役割分担を構築する目的で「自治体版市場化テスト」(提案型の民営化一委託化募集)や「事業仕分け」などを取り入れた「協働化テスト」を創設し試みているが、これから主要なテーマになっていく課題である。市長の見解は。

6 月 12 日

9 人目

5 番

山 崎 陽 一
(60 分)

1 「羽村駅西口区画整理事業」を白紙撤回し、現状を活かしたまちづくりを求める

- (1) 「羽村駅西口区画整理」355 億円の費用対効果について
 - ① 試算があればその試算条件、試算結果の詳細を示してほしい。
 - ② 区画整理の経済効果を全市民に説明すべきと思うがいかがか。
- (2) 区画整理 355 億の市民負担分について
 - ① 事業費は全市民が負担することを市民に知

6 月 12 日

10 人目

15 番

門 間 淑 子
(60 分)

- らせているか。
- ②市民一人あたりどのくらいの負担になるか。それを知らせて判断を受けるのが市民参加の自治と考えるがどうか。
- ③事業費のうち市費の内訳と調達方法は。
- (3) 反対権利者の多いなかでの事業強行について
- ①反対権利者が何人おり、なぜ反対なのかの市長の認識をうかがいたい。
- ②市は合意という文言をよく使うが、どんな行為をもって「合意」とするのか、その認識をうかがいたい。
- ③前回議会で「説明会の出席者が少ないが総論は賛成であり、理解が得られていないとは考えていない」というが、では理解は得られたと考えているのか。
- ④反対の中で強行するつもりか。
- (4) 国交省「都市計画運用指針」では社会経済環境の変化に的確に対応するように求めている。事業計画決定後に見直しや中止した地区もあるので質問する。
- ①計画当初の想定人口 6 万人が平成 23 年度推計で 54,593 人と 1 割減。計画への影響はどうか。
- ②モノレール土地確保が区画整理の大きな要因だったが誘致の可能性はあるか。
- ③モノレールが建設されなければ計画に食い違いが出てくる。どう変更するか。
- ④目的が中心市街地活性化というが、中心市街地の定義と範囲はどこまでか。
- ⑤市内には中心市街地と考えるのは何カ所あるか。
- ⑥低成長、財政難、少子高齢化、環境保全など時代の変化に対応し事業を見直すのが「効率性」「効果性」を旨とする市政のあり方と思うがどうか。
- (5) 羽村駅西口地区の緑と歴史的景観保全について
- ①この地域の景観は未来に残すべき遺産と思うが、区画整理で破壊されないか。
- ②「地球環境に配慮した水と緑の潤いある環境にやさしいまちづくり」と区画整理事業に整合性はあるのか。

1 小金井市の可燃ごみ受け入れ問題について

- (1) 小金井市は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく、一般廃棄物の計画的処理に失敗したと考えるが、市長はどのように受け止めているか。
- (2) 小金井市は多摩地域ごみ処理広域支援体制実施協定 3 条にある市町村の責務を果たしていないと考えるが、市長はどのように受け止めているか。

6 月 12 日

- (3) 正副管理者会議の議事録では、受入れは長期になるとの認識が示されているが 10 年という期間について市民の理解は得られていない。期間短縮のための条件と受入れをストップする時期について、市長の見解はどうか。
- (4) 協定は、羽村市長名でも締結されている。市長には説明責任があると考えるが、説明会には一度も出席していない。説明責任を果たしたと考えているのか。
- (5) プラスチックと小金井市のごみにより焼却量が増え、環境悪化への不安の声を聞く。衛生組合は早急に公害防止のレベルアップを進めるべきだが、市長はどのようなプランを持っているか。

2 横田基地の有害物質漏れについて

- (1) 99～06 年に 90 件の有害物質漏れがあったと報じられた。地元自治体に報告されたのは、1 件だけとされている。その他の件について、詳細把握のため、羽村市として、調査・検討がなされたか。

横田基地周辺市町基地対策連絡会では、調査・検討がなされたか。

- (2) 米軍情報であっても、市として情報公開請求できる体制づくりが必要ではないか。

3 「ゆとろぎ」は障がい者が使いやすいよう改善を

- (1) 関係者専用駐車場内に、障がい者専用スペースを確保すべきではないか。
- (2) 障がい者用トイレ内部をもっと明るくとの声があるが、対応を問う。

1 食物アレルギー対策の強化を

- (1) 食物アレルギーに対して市はどのような認識をもっているか。
- (2) 保育園・幼稚園ではどのように取り組んでいるか。
- (3) 小学校・中学校における学校給食ではどのように対応しているか。
- (4) 個々に応じたアレルギー対応食を食べられる環境を整えよ。
- (5) 児童・生徒・教職員に対し食物アレルギーを食育のなかでどのように理解させているか。
- (6) 症状が急激に現れる、アナフィラキシー・ショックへの救急体制はどのように考えているのか。

2 猫の飼育と動物との共生について

- (1) 市は、猫の飼い主に対してどのように指導、対応しているか。
- (2) 羽村市に住み着いている飼い猫でないであろう猫についてその数を掌握しているか
- (3) 猫に関する問い合わせは昨年度、何件でど

12 人目

8 番

馳 平 耕 三
(60 分)

- のような内容のものがあったか。
- (4) 飼い主が特定できない猫を減らす対策をどのように取り組んできたのか。
 - (5) 人と動物の共生について市の考えを聞く。
 - (6) 猫の不妊去勢手術等の助成の考えはないか。
 - (7) 人と動物が共生する社会を市民と共に考える機関の設置を検討してはどうか。

1 税源移譲に伴う税率の変更について

- (1) 今年度の税源移譲に対する税率の変更について、市民の皆様にはわかりやすく説明を。
- (2) ホームページや広報以外で、どのように市民の皆様には説明してきたか。
- (3) 税源移譲によって、地方分権はどのように進み、市民サービスはどのように向上するか。
- (4) 政府与党が打ち出している「ふるさと納税」について、市長はどう考えているか。
- (5) 今年度の収納率をどのくらいと考えて予算を立てたか。
- (6) 税源移譲に伴う税率の変更で、収納率が下がる事が懸念される。多くの自治体で、新たな滞納整理対策を講じているが、羽村市は新たな対策を講じているか。

2 羽村市景観条例を制定すべきではないか

- (1) 東京都 23 区、26 市の中で、景観条例を制定している自治体はどのくらいあるか。
- (2) 東京都との景観に対する協議会は何回開催されて、そこでは何が話しあわれたか。
- (3) 羽村市環境審議会の中で、「景観条例を起案すべきではないか」という意見が出されたが、「当面、制定する予定は無い。」と答えているが何故か。
- (4) 玉川上水景観基本軸以外にも、市が国民一人一人、羽村市民一人一人の資産として、美しい自然との調和を図りつつ、整備し次の世代に引き継がなければならないと考える景観は、具体的にどのようなものがあるか。

6 月 12 日

13 人目

6 番

小 宮 國 暉
(60 分)

1 市内の特別養護老人ホーム等への入所受入れ整備について

- (1) 市内の特別養護老人ホームの現状について
 - ①市内の施設数、各施設の入受可能人員（ベット数）とその合計、市内・市外別のベット数とその比率
 - ②市内の各施設に入所を希望している市民の数（待機者数）とその合計は。
- (2) 入所受入れにあたっての問題点について
 - ①施設によって入受可能人員（比率）に大幅な差異があるか。あるとしたらその理由は何か。
 - ②施設によって入所希望者（待機者）に大幅な

6 月 13 日

差異があるか。あるとしたらその理由は何か。
③今までに市当該部署と施設間との定期的な情報交換を行っているか。行っていないとしたら、今後その必要性があると考え、いかがか。

(3) 特別養護老人ホームへの入所受入れに関する市の方針・方策について

①市内の方の受入れ人員（ベット数）を増やすための方策は。

②国や都は特別養護老人ホームの新設を認めない方針のようだが、その理由は何故か。また市はどのような方針か。

③医療制度改革に伴い、老人病院の大幅な減少が予想される。市として、どのように分析し、どのような見通しと対応策を持っているか。

2 図書館、ゆとろぎ、スポーツセンターの通年開館について

(1) 図書館、ゆとろぎ、スポーツセンターは月曜休館となっているが、これらの施設を通年開館にするべきと考えるが、いかがか。

3 学校給食費の滞納問題について

(1) 現状と問題点について

①学校給食費の納入システム（流れ）はどのようなになっているのか。またそれに関する規則はどのようなもの（規定）があるか。

②18年度から過去5年間の、学校別滞納者の人数、金額、経年推移（累積）、全体人数に対する滞納者の割合（滞納率）は。

③債権者はだれか。債務者はだれか。徴収責任者はだれか

④債権者、債務者間にて、納入についての契約書、または誓約書を取り交わしているか。

⑤市当該部署、給食センター（議会）、学校長、保護者団体（PTA）での対策会議は定期的に行われているか。行われてなければその必要性があると考え、いかがか。

(2) 方策について

①滞納を防ぎ、徴収率を高めるための具体的方策は。

14 人目

16 番

市 川 英 子
(60 分)

1 学校給食について

(1) 大人の社会構造の変化(格差社会・母子家庭の増加・少子化等)が、子どもたちの「食」に大きく影響を及ぼしている。大人を含めた「すべての国民」の食生活や考え方にまで及ぶ取り組みをしようとした法律が「食育基本法」である。そのような社会の変化の中で、学校給食の役割はますます大きくなっていると考え。そこで、学校給食の役割をどのようにとらえているか伺う。

(2) 「給食センターの老朽化に伴い、今後の給食の方向性・あり方を市民の皆さんと考えてい

6 月 13 日

15 人目

18 番

中 原 雅 之
(60 分)

く」と教育長が説明されている。具体的にはどのようになっているのか伺う。

- (3) 子どもたちにとって良い学校給食とは、安全・安定・栄養価に優れた・おいしい・地域とともに支える・教育としての学校給食等が考えられる。それらを実現するには直営の自校方式が最良と考えるが、市の考えを伺う。

2 生活保護について

- (1) 生活保護法第 7 条は申請保護の原則として要保護者等の申請にもとづき保護の開始をするとなっている。市民から「申請したい」との訴えがあった場合、法に基づいて適切に対応しているか。また、よく言われている水際作戦は羽村市の場合はどうか。

- (2) 去年から全廃された老齢加算と今年から廃止予定の母子加算について市単独事業として復活してはどうか。

また、交通災害共済掛金と上・下水道使用料の助成金も復活してはどうか。

さらに、就労指導を受けて就職活動をする場合の公共交通費と昼食費の一部補助の支給をしてはどうか。

- (3) 担当職員やケースワーカーの教育制度はどのようになっているか。
(4) 来所・電話等の相談記録はどういう場合残すのか。
(5) 生活保護担当の職員の人数は法的にはぎりぎり守られているが、社会情勢の変化、(市民生活が苦しくなっている)の中で職員の負担が大きいと市長は考えないか。

1 市民の手による里山保全事業を

- (1) 品川区では山梨県早川町の里山を無償で借り受け区民主導による里山保全事業をすすめることになった。

羽村市としても、姉妹都市を結んでいる北杜市と協議をし、このような事業をすすめてはどうか。

2 若い人々の健康対策を

- (1) 若年労働者の約半数は不安定雇用といわれており、不規則な生活で健康を害する人も増えていると報じられている。市として、若年労働者の実態調査をしてはどうか。
(2) 基本健康診査を 16 歳から 39 歳まで拡大する考えはないか。

6 月 13 日